

自然体験活動上級指導者

NEALインストラクター養成事業



会場 | 国立淡路青少年交流の家

日程 | 令和4年2月21日(月)～2月23日(水・祝) <2泊3日>

参加者 | 7人

各講座の様子

No.1

「学校教育における体験活動」
「自然体験活動の特質」
講師 大本 晋也
(国立淡路青少年交流の家 所長)

「子供たちの現代的課題は何だろう？」
「体験を通して育みたい力は？」
「体験活動における不易流行って？」

お互いの意見を伝え聞くことで、自分自身が体験を通して子供たちに育みたい力を改めて考えつつ、自然体験活動の持つ特性についても整理することができました。

No.2

「自然体験活動の安全管理」
「自然体験活動の技術」
講師 三浦 正純
(神戸市立自然の家
ゼネラルマネージャー)

安全管理のプロセスや安全管理の方法について講義で学んだ後、野外炊事を通して「人」「物」「環境」の3つの視点から活動中の危険因子をどう評価するか、グループごとに検討しました。

また、体験活動にどのような「しかけ」を組み込んでいくかという「技術」についても、体験的に理解を深めました。

No.3

「対象者理解」

講師 高瀬 宏樹
(国立曾爾青少年自然の家
企画指導専門職)

対象者を理解するためには、年齢や発達段階で共通にみられる行動などの法則性を理解する一般的理解と、ある特定の参加者の個性や行動の特性を理解する個別的理解の2つがあること、発達障害の特性や情報収集の方法などを、講義やケーススタディを通して学びました。

No.4

「自然体験活動の企画・運営」

「自然体験活動の指導」

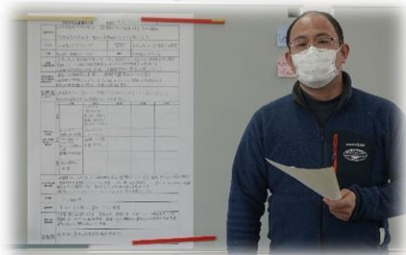
講師 西村 典芳
(関西国際大学 教授)
三浦 正純

企画を立てる際の重要な視点として、企画者の思い、コンセプトの設定やポテンシャル分析、目的の設定、考える技術などを講義を通して理解した後、各参加者が考える企画を練り上げていきました。

講師のフィードバックによりブラッシュアップされた企画の発表を行い、あっという間に時間が過ぎていきました。

受講者の声

- 優しさや愛のある厳しい言葉をいただき、感謝しかありません。参加者のことを第一に考えた運営をしていただきました。
- 終始一貫したコンセプトの中、講師付きっきりの贅沢な研修でした。いい学びと出会いの機会をいただき、久しぶりの充実感です。
- 2泊3日集中して研修に取り組むことができました。講師の三浦様から民間団体の本音を聞くことができ、国立青少年教育施設で働く自分にとって大変ありがたかったです。



【本事業への問合せ】 国立淡路青少年交流の家

TEL 0799-55-2695 FAX 0799-55-0463 E-mail awaji-senmon@niye.go.jp

【自然体験活動指導者資格への問合せ】 全国体験活動指導者認定委員会 自然体験活動部会

事務局 (NPO法人自然体験活動推進協議会) TEL 03-5452-4058 FAX 03-6407-8241 E-mail info@neal.gr.jp